修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

輝く新春を迎う

文化の振興に努力

文部大臣
砂田重民

昭和五十三年の新春を迎え、国民の皆さまにお喜びを申し上げるとともに、文部行政について所感の一端を述べてごあいさつといたします。

今日、わが国は、景気、雇用など経済面で大きな困難に直面しており、これに対処して最大限の努力を払っていかなければならないことはもとより当然のことでありますが、わが国の将来に思いをいたすとき、資源に恵まれないわが国が、未来にわたって限りない発展を続け、真に健康にして文化的な生活を営めるような国家社会を築いていくためには、なによりもまずわが国の将来を担う、創造性に富んだ、たくましい日本人を育成していくことが国政の最重要な課題であると確信いたしております。

砂田文部大臣

私は、この課題に取り組むに当たって、まず、個性豊かで心の温かい子供たちを育てるための教育行政を進めていきたいと存じます。

このため、昨年行った小・中学校の学習指導要領の改訂に引き続き、高等学校の学習指導要領の改訂も行い、教育内容を精選し、ゆとりのある、しかも充実した学校生活の中で知・徳・体の基礎と基本を確実に身につけ、心身ともに健全な人間性豊かな国民の育成を期してまいりたいと考えております。

教育内容の改善とならんで重要なことは教職に人を得ることであります。私は「良い先生がほしい」という全国民的な要望に最大の努力をもってこたえてまいりたいと思います。教育界に人材を確保するための教員給与の改善については、昨年末、懸案の第三次改善のための給与法の改正が実現をみたところでありますが、引き続きその改善を進めるとともに、教員の資質の向上のため、教員大学院大学の創設を図るなど教員の養成・研修の改善充実に努めてまいります。さらに、教員が意欲をもって教育に専心し得るような教育の諸条件の整備に意を用いてまいる所存であります。

受験体制の過熱化の現状を打開し、学校教育の正常な発展を期するために、高等学校以下の教育の改善とあいまって、大学入試の改善を図ることが急務であります。

昭和五十四年度の入学者選抜から国公立大学において共通第一次学力試験を取り入れた新しい入学者選抜方式が実施の運びとなりましたが、この新しい制度が国民の強い期待にこたえて十分な成果をあげるよう今後もあらゆる努力を払ってまいりたいと存じます。

次に、高等教育については、当面その質的水準の充実向上と地域的不均衡の是正に特に重点を置きき、地方における国立大学の整備充実、公私立大学に対する援助措置の拡充、育英奨学事業の充実などの諸施策を進め、全国的、構造的に均衡のとれた高等教育の発展を期してまいる所存であります。

永遠に変わることのない国政の根幹である教育に対して、国民の皆さまがたの一層のご理解とご協力を切にお願いして新年のごあいさつといたします。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

全修協に期待する

日本教職員組合・中央執行委員長
槙枝元文

槙枝委員長

一九七八年の新春を迎えるにあたり、みなさまのご健康と一層のご活躍を心からお祈りいたします。

現在の日本は明治維新と太平洋戦争直後にみられた混迷期と同じ状態に置かれているといわれますが、この経済を中心とした世情不安のうちに明けた本年こそ、われわれの堅い高度の精神力で乗りこえていきたいと決意しているしだいです。

公益法人としての全修協に課せられた使命は重く、修学旅行を通じ一貫した教育性の高揚に一路邁進していくことは当然であり、これこそ全修協設立の基本的理念にほかならず、教育を熱愛する全国の同志諸君ならびにわれわれの運動を側面から支援される多くの方がたのお力添えにより、今後ますます事業の進展をみることに大きな期待をかけております。

修学旅行にふくまれる諸問題は社会機構の複雑化と経済的趨勢によって若干その変革を余儀なくされつつありますが、われわれの英知によって理想の姿を求めることは決して不可能ではないのであります。

全修協体制のなかに擁する修学旅行委員会の組織が逐次強化されつつあることに注目していただきたい。創立と同時に発足した各地区修学旅行委員会は、現場の先生がたの営々たるご努力によって完全なる体制のもとに運営されており、さらに昭和四十七年には連合体ともいうべき関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会が結成され、修学旅行の効率的な安全輸送対策公共料金、宿泊料などの値上げ抑制、要保護・準要保護児童生徒に対する補助金増額などの運動を展開し、その成果は目覚ましいものがあります。本年は上記三地区のほかに九州地区の参加が急速に具体化されるものとみられ、その動向はきわめて注目されると同時に、われわれの運動に一層の拍車を加えるものと信じています。かくしてわれわれはこれらの組織とともに歩み、修学旅行を完全なる理想像に近づけたいと念願しているしだいです。

また、修学旅行実施のための教職員の体験的育成を目指す研修旅行は年ごとに発展し、三季制による実践もわが教育界に定着、本年は二十二年目を迎えるにいたりました。コースの多様化、細部にわたる研修行事の設定など、旅行による教職員の資質向上と元気回復のため大いに活用されております。その趣旨を深く理解され、実施に当っては都道府県教育委員会の後援、各教育機関からの補助育成も行われ、わが教育界の一大行事として称されるにいたっております。

これは、われわれの運動が終始一貫、教育愛によって支えられ、掲げられた高度な理想の旗に寄せられる讃意の結果とみるべきでありましょう。

新春にあたり、われわれは徒らに過去の実績に酔うことなく今後さらに二本柱の運動を中心として支部組織の拡大強化、事務局の整備を断行し、もって全修協運動の強固な全国浸透を図りたいと思うものです。

年頭に際して皆さまのたゆまぬご支援とご協力を切に希望するしだいであります。

二本柱の運動推進へ

財団法人・全国修学旅行研究協会
理事長　山本種一

ついても、昨年と同様、WCOTP総会に合わせて行いたいと思っています。参加者に喜ばれ、ふるって参加できるよう、日程・費用・計画・実施について特段の配慮と努力をお願いしたいと思います。

全修協のご発展を心から願い、新年のご挨拶といたします。

（全国教職員福祉団体連絡協議会会長）

刻な不況の影響でその負担は家計に重くのしかかるにちがいありません。

それだけに安全・親切・低廉をモットーとしている全修協への父母・教職員の期待は大きいものがあります。昨年五十万人をこえる児童・生徒の修学旅行を無事なしとげた全修協が、飛躍的に事業を拡大できるよう全面的に協力したいと思います。

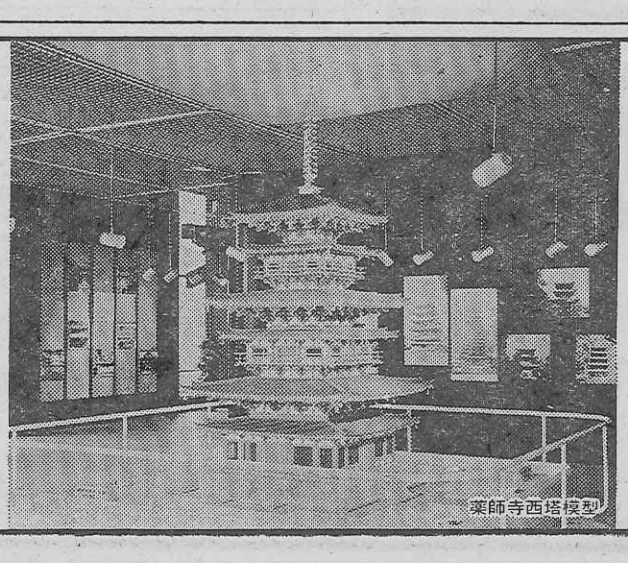
また、教職員の海外研修旅行に

風紋

日本の伝統行事は芸能関係をふくめて信仰に基づくものがきわめて多い。したがって全国の社寺を中心に展開される古来からの行事は、静寂なうちにも壮麗さが加わり、参観者の心を惹く。ことに年あらたまる一月から春にかけて珍しい行事が暦を飾る▼そのなかでも奈良・東大寺二月堂で行われる修二会（しゅにえ）は「お水取り」としても有名だ。三月十二日、観音さまにそなえる浄水を汲む行事であるが夜中の二時、練行衆とよばれる僧侶たちが、自ら犯した罪やけがれを本尊の十一面観音に懺悔し、国家の安泰と衆生の幸いを祈る法要である▼この修二会は毎年三月一日から二週間にわたって行われるが、天平勝宝四年（七五二）東大寺の僧・実忠和尚によって始められ、いらい千二百余年のあいだ連綿として絶ゆることはない。「二月堂縁起」によると実忠和尚が笠置の竜穴に入り、常念観音院で菩薩たちが行っている行法をみて、これを人間の世界に伝えたものという▼二月二十日に始められ、三月一日から本行に移る。僧たちは二月堂の参籠所に分宿し、一日六回にわたって懺悔の練行をする。日によって達陀行法、お水取り、過去帳、走り行法などが加わり趣きを変えてあるのも面白い。このあいだ、僧たちは一滴の水も飲むことを許されぬという▼お水取りの夜は練行衆たちが大松明、ホラ貝、金剛鈴、牛王杖、大松明などを持って堂の南石段を降り井戸で香水を汲む。「おたいまつ」とよばれるのは練行衆が堂に昇るとき道案内として使ったことに由来しこの夜に使われる松明は大きく、八丈に及ぶ青竹の先きに「篭松明」という、竹で編んだ篭にヒノキの木片を入れて点火する▼午後七時ごろ二月堂の長い回廊を炎々と燃えさかる大松明を車輪のように回転させる。火の粉が闇のなかに舞い散り、壮絶な光景をみせる。この行事がすむと大和には本格的な春が訪れる。

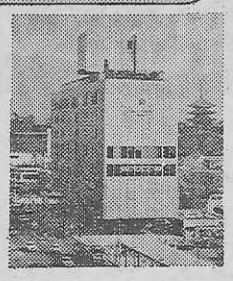
昭和53年　あけまして　おめでとう　ございます　1978年

大和路の
1300年が
ひと目で。


薬師寺西塔模型

奈良歴史教室

日本のふるさと〈奈良・大和路〉
その素晴らしい歴史・文化・美術から
年中行事・観光の見どころまで
模型・写真・スライドなどで
わかりやすく解説。
思い出残る修学旅行を
より有意義に、より楽しく……
ぜひお立寄りください。



入館料……200円　こども100円　団体（25人以上）は割引
営業時間……平日10時～18時
日曜・祝日10時30分～18時30分（月曜休館）
●お問合せ…近鉄奈良駅ビル4・5階　☎0742-24-3901

自然の中の心の休日
近鉄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私は総裁就任いらい、国鉄の再建に全力をあげて取り組んでまいりましたが、とくに昨年「国鉄運賃法及び国鉄法の一部改正法」が成立したことは、再建への一つの足がかりとして大きな意義を持つものであると考えております。法案成立に至るあいだ皆さまから寄せられた多大なるご支援、ご協力に対して改めて厚くお礼申し上げます。

ご承知のように、この法律は運賃決定方式の弾力化と、投資対象事業範囲の拡大を内容とするものであり、国鉄が多年念願していた当事者能力の強化のワンステップともいうべきものであります。今後はこの法律改正を踏まえて、経営の自主性・機能性を発揮し、国鉄の置かれている厳しい事態に対処してまいる所存であります。

しかしながら、国鉄の経営の自主性が高められたということは、それだけ国鉄の責任が重くなるということでもあります。このことをよく自覚して、真に「国民の鉄道」として信頼されるよう安全・正確な輸送はもちろんのこと、きめ細かな輸送サービスに、なお一段と努力を重ねていかねばならないと考えております。

私は機会あるごとに、職員に対して、発想を転換して柔軟性のある考え方をもつことが重要であると強調しておりますが、これはかつての独占性を失い、今や他交通機関との厳しい競争場裡に置かれている国鉄にとって、将来とも基幹的な輸送機関として使命を果たしていくためには、ぜひとも必要なことであると考えるからです。

本年は十月に効率的輸送体系の整備をめざすダイヤ改正を予定しております。また、貨物、地方交通線、資産活用の問題など難しい問題が山積しておりますが、四十三万職員の志気を高めながら、粘り強い努力でひとつひとつ解決してまいる所存であります。

本年も、全職員一丸となって、新たな再建への道を確実に進んでまいりたいと考えておりますので皆さまの変わらぬご理解・ご協力を切にお願い申し上げます。

新発想で再建の道

国鉄総裁　高木文雄

高木国鉄総裁

新年を迎えて

組織の拡大強化へ

小笠原健治

小笠原健治氏

明けましておめでとうございます。

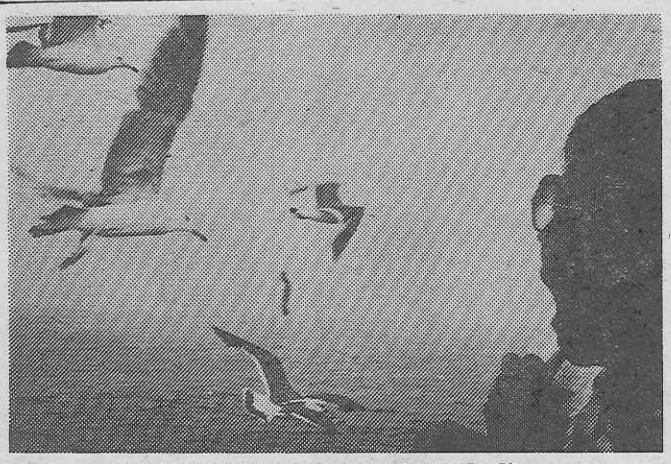
一九七八年を迎えるにあたり、財団法人・全国修学旅行研究協会、関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会ならびに各地区修学旅行委員会の皆さまに心から慶祝の言葉をささげます。

学校行事のなかでも、とくに社会情勢の動向に左右されるのは修学旅行であって、われわれはこれらのきびしい環境にとりかこまれながら多くの改善を志さねばならぬ責任を負っております。

幸いにして多士済々の先生がたを擁する各修旅委、さらに連合体である三地区修旅連絡協は、全修協山本理事長ご指導のもと、すでに輝やかしい業績をあげつつあり昨年は要保護・準要保護、へき地児童生徒にたいする補助金の増額要求に成功、現在、その予算案貫徹運動をつづけております。

また、三地区修旅連絡協は昨年の秋季総会で福岡県の加入が可決され、いま現地においてその整備が執られつつあることに対し大きな期待を寄せているしだいです。

この組織の拡大強化は、われわれの久しく念願していたところであって、いまその実現が間近かになったことにつき、心から祝福の意を表するしだいです。



昨年度研修旅行写真コンクール入賞作品・陸中海岸コース「うみねこ」牧戸秀子さん（三重）

全修協と表裏一体

門野　敬男

門野敬男氏

全修協が発足二十一年目の新年を迎え、ますます充実発展しつつあるのを心からお慶び申し上げます。

とくに山本理事長が中心となって全国児童生徒の修学旅行に対する研修・啓発及び保護者負担の軽減に努力してこられた実績に対して心から敬意を表します。

昨年はじめ、私は大阪府理事会において府修学旅行委員長に選出され、六月二十三日には関東・東海・近畿三地区修旅連絡協議会にのぞみ、その協議の中で、全修協と三地区の表裏一体の姿を知ると共に、綿密な計画と改善に努力しておられる姿を知り感銘を受け、当日、副会長に推されたことに、責任の重大さを痛感いたしました。この三地区は各々その地域性があるにしても、児童生徒の修学旅行の改善に努力するにあたり、発足当時の原点にもどってその意義を確認し、保護者の負担を軽減するため、特急料金免除など国の補助増額運動をさらに推進することを全日中に働きかけることが申し合わされました。

十月二十一日、全日中理事会において、私から修学旅行の現状と保護者の負担軽減を提案し、満場一致で決議されました。

つづいて十一月十八日、近畿地区の担当で三地区協議会が開催されたところ、福岡県中学校長会より、新幹線割引きの恩典を全く受けていない現状を話され、福岡県はもちろん九州地区が加わり、今後四地区協議会に発展する見通しがついたことを、心からよろこぶものであります。将来、機会をみて、残された中国・四国にも呼びかけて、組織の拡大に努力していきたいと思います。

以上の懸案解決のため、みなさんのご協力を心から願うものであります。

（関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会副会長、近畿二府四県修学旅行委員会委員長、大阪府八尾市立大正中学校長）

傘下の各地区修旅委におかれてもその地区の実情に即した細かい配慮につき倍旧のご尽力を致されるよう祈念するものであります。

（関東・東海・近畿三地区修学旅行連絡協議会会長、東海三県中学校修学旅行委員会会長、岡崎市立城北中学校長）

修旅委と協力して

伊藤　守

伊藤　守氏

一九七八年の新春を迎え、謹んで年頭のご祝辞を申し上げます。

修学旅行には学校行事としての本質的な課題のほかに、絶えず幾多の問題が付随しており、われわれは各県の役員諸先生とともにその対策に努力してまいりました。とくに関修委では新幹線を利用するばあい、東京駅にいたるまでのいわゆるつなぎ列車が年ごとに窮屈となりその円滑な輸送に忙殺されているのが実情です。

学校は県修学旅行委員会と協力して万全の処置を執り、さらに国鉄からも便宜を図っていただいていることに感謝しているしだいですが、国鉄当局の輸送担当者の配置や首都圏における通勤電車の確保などが大きく影響し、修学旅行の輸送は困難な条件のもとにおかれています。

われわれは修学旅行が学校における大きな教育行事の一つとして認識し、今後も立ちはだかる多くの障害を克服し、安全で快適な実施を継続すべく努力を重ねたいと思うのであります。全修協・山本理事長のたゆまぬご指導を得ますよう希望するしだいです。

（関東・東海・近畿三地区修旅連絡協副会長、関東地区修学旅行委員会会長、宇都宮市立陽西中学校長）

謹賀新年

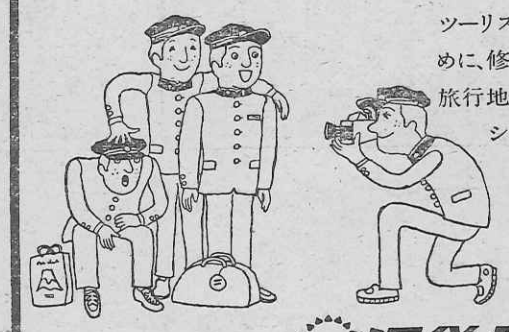
昭和五十三年元旦

財団法人　全国修学旅行研究協会

理事長　山本種一
常務理事　白滝末紀
同　永井熙
同　村山助雄
理事　高田治郎
同　完戸一郎
同　青山良道
同　成瀬幡治
同　魚谷時太郎
監事　芦田重左衛門
同　田尻一雄

本部事務局
大阪事務所
名古屋分室

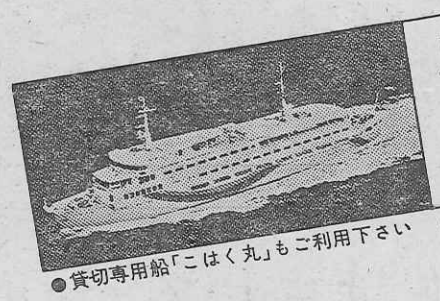
ツーリストの修学旅行は新鮮です。



ツーリストでは、より充実した修学旅行のために、修学旅行用の映画を製作いたしました。旅行地別に編集した16ミリカラー「学習の旅シリーズ」、日本の文化・歴史・自然などを広範囲にとらえた「ツーリスト映画シリーズ」など約20編。事前のオリエンテーションのほか、学習の教材にもどうぞご利用ください。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN



思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向（宮崎）フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市港区弁天6－7－15 ☎(06)574－9161
東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)274－4271
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

財団法人　全国修学旅行研究協会編

心にのこる修学旅行

■財・全修協創立20周年記念出版

児童・生徒の目がとらえた修学旅行と先生の研究論文

本書は全国の小中高校生の作文と、現場先生の調査資料・研究論文を収録し、修学旅行の立案計画から現地での実際体験、事後の反省・評価の実態と改善点をしめた。こどもたちは何を得、何を求めているか。先生たちは現状をどう認識し、将来をどのように模索しているか。これからの新しい修学旅行を開拓しなければならない関係者にとって本書はまさに啓蒙の声である。

作文小学生28編、中学生48編、高校生9編と研究論文16編のほか、文部省初中局教科調査官・堀久氏の「これからの修学旅行」と全国都道府県修学旅行実施基準を掲載。

推せんのことば

■谷合　良治氏（全日中会長・東京都青梅市立一中校長）修学旅行は学生時代の夢であり、華である。このたび「心にのこる修学旅行」の論文・作文集が企画・作成されたことは誠に喜ばしい。人生を通じて最も印象に残る思い出のひとこまとして大切にしてほしい。

■高橋幸三郎氏（全国特別活動研究会長・東京都千代田区立麹町中学校長）修学旅行は、重要な教育的価値をもつ反面、さまざまな問題点を抱えている。このたび全修協が「心にのこる修学旅行」を編集されたことは、まことに敬服にたえない。修学旅行が児童生徒のすばらしい一生の思い出となるよう、切に願うものである。

■森　武夫氏（東京都立両国高等学校長）わたくしは、この本を読んで、深い感銘をうけた。子どもの目でとらえた修学旅行のありのままの姿と、これからのありかたを示唆す論文は、教師・児童生徒が修学旅行を考える上で非常に参考になる。広く全国の先生方、児童・生徒の皆さんに一読をすすめる。（全国高校長会長）

A5判272ページ・上製本・本文2段組・写真と図版多数
頒価　1,400円（送料200円）
（2冊以上の送料は約2割増）
限定出版のため書店では扱いません。右記の発行所か全修協へお申込みください。

発行所　株式会社　教材研究所
〒601　京都市南区西九条鳥居口町5
電話075—681—1591（代表）
振替京都2539